

市長と語るう地域懇談会 記録

【日 時】平成26年11月27日(木)午後6時30分～8時20分

【会 場】東山支所

【対象地域】東山全域

【出席者】23人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	<p>東大のシンポジウムに出席した時に、愛知県豊田市におけるまちづくりについて参考となる事例などがあり、東山地域及び市全体で参考としていただきたい。内容は都会の若者を3年間にわたり移住生活をさせ、地域の行事に参加するなど、楽しい生活の様子がいろいろな形で広まり、農的な生活に憧れる若者たちが移住して人口が増えるというもの。地域で楽しく生活できることが大切なことだと思う。若者が地域を活性化するためには住んでいる私たちの共通した認識も必要だと思う。人材育成、価値観の認識、コミュニティづくりなど市の職員も同じ市民なので、同じ立場でいろいろ考えるべき。</p>	<p>【市長】移住対策については全国的にいろいろ実施している。富良野市でもいろいろな方法があるが、東大演習林の資源を生かして、教育的な見地からもさまざまな方法を考えていきたい。移住定住は、迎え入れる側の体制や地域で支える状況づくりが必要だと思う。東山地域の空き家の活用も必要。実際に東山の山奥に都会から移住している人もいる。東山の農産物を活かすなど移住できるような取り組みを考えていきたい。</p>
経済部	<p>今後の東山の人口減少は見当もつきませんが、新規就農対策を進めてほしい。子供が少なく高齢者が多い状況ですが、結婚していない若者を何とか結婚できる状況にしてほしい。青年部は文化祭や樹海の森などの活動に参加させている。しかし、この地域には女性が少ないので、出会いの場を作ってほしい。</p>	<p>【市長】市全体では、昨年の3月時点で50歳以下の未婚の農業者の方が106人いる。青年活動も少なく、話しもうまくできない状況と聞いているので、何か良い方法があれば若い人たちに教えてもらいたい。東山地域にも30人くらいは未婚の農業青年がいると思うが、来年に向けて人と接する機会を何か考えていきたい。農業委員会のアグリパートナー事業も実施しているが、募集する女性を上川管内の地域に住んでいる方に絞るようなことも良いと考えている。</p>
総務部	<p>NPO 法人で高校生の農業体験などを実施し、受け入れている農業者も刺激を受けていると思う。法人に対してもう少し支援して</p>	<p>【市長】当初東山地域は、修学旅行生の受け入れを実施していませんでしたが、人とのつながりができるので、東大演習林と合わ</p>

	<p>いただき、さらに地域を活性化できたらと思う。</p>	<p>せて修学旅行生の受け入れができると良いと思う。また地域の空き学校を利用して、趣味を活かせるサークル活動を実施するなど、青年たちを上手く利用し、東山地域の環境を考慮しながら豊田市の事例を実践していく方法もあると思う。</p>
<p>経済部</p>	<p>地域を活性化するという認識はどの NPO 法人もあるが、横のつながりがないため、今後協力できる体制ができたらもっと良くできると考えている。農協などの協力も必要ですが、行政側から協力できる人を派遣してもらうことはできないか。</p>	<p>【市長】農業を指導できる職員がいない状況ですが、知識や経験のある職員が必要と考えているので、来年には畜産の技術職員を採用するなど、年々農政関係の充実を図るようにしている。農業者においても親が口を出さずに子供に責任を持たせるなど、意識改革が必要だと考えている。各地域にはコミュニティ推進員が2名いるので、活用してほしい。</p> <p>【経済部長】農業委員会で実施しているアグリパートナーでは男性が積極的でないので、専門家による研修をしているが、今後も若い人たちと相談しながら進めていきたいと思う。新規就農については住宅などの協力をお願いしたい。東山地域は観光的にも魅力があるので、有効活用していきたい。</p>
<p>経済部</p>	<p>独身の人は、25歳までに結婚したいと思っている人が多いと思うが、農業青年の場合は家の仕事を空けて、イベントなどに参加できない。例えば、親が代わりに仕事をしてくれるのであれば、いろいろな場面で活動することはできると思う。女性も仕事や趣味、子どもの必要性など結婚する考え方が違うので、今後人口が増えることは考えにくい。富良野市の全体的な目的意識や方向性を決めていかないと話し合いもできない。</p>	<p>【市長】親の農業の継いだ人は年齢を問わず独立意識はないと思う。職業に関係なく、自分自身で決断するなど、与えられたこと以外のことを実施することが必要だと考えている。農業の労働力を確保するために、50歳から60歳までの無職の人を労働力として活用できないか、今後アンケート調査を実施するので、結果を見て検討していきたい。労働力が確保できれば活動する時間を作ることもできる。また、今後は個人経営でなく、法人や企業提携など、幅広い農業経営を考える必要があると思う。</p>
<p>総務部</p>	<p>NPO 法人が設立されるなど地域も変化し、今後の地域の方向性を決めていきたいと考えている。農協にも働きかけながら新規就</p>	<p>【市長】地域からいろいろな情報を発信している影響は大きいと感じている。移住できるような地域にするために、NPO 法人に</p>

	<p>農にも力を入れていただいているが、地域の支えも必要だと思うので、東山地域としても意識を高めていきたい。</p>	<p>も協力していきたいと考えている。これ以上人口を減らさないためにも、光ファイバーを整備するなど、移住者が増えるような基盤整備を進めていきたい。</p>
建設水道部	<p>離農した跡地を引き受ける人は、面積が増えるため春・秋まき小麦など作物が限定されてしまう。そうすると大型機械を移動することとなる。軽トラックが交差できないくらい道路が狭いため拡幅できないか。</p>	<p>【建設水道部長】道路交通法上の道幅は確保していると思うが、後日現地を確認する。</p>
経済部	<p>富良野市は農業が中心と言われるが、農業に精通した職員の採用をお願いしたい。農業に対して子どもたちが希望や夢を持てるような状況づくりをしてほしい。地域の人々が学校に来たり、地元で子どもを育てる体制など支えるきっかけ作りを行政として進めてほしい。</p>	<p>【経済部長】農業担い手育成センターで研修した4年後には農業経営が開始される。今後、地域の方とも話し合うことがあるので、センターに配置される職員や本庁舎の職員の活用をお願いしたい。</p>
経済部	<p>新規就農者に農家の空き家を貸すのは難しいので、行政の空き家バンクを整備・利用できないか。就農者が公営住宅に入居できるような対応策の考えはあるのか。</p>	<p>【経済部長】住宅については山部にある住宅を活用する。将来的には東山にある教員住宅も必要に応じて段階的に考えていきたいが、就農者専用の公営住宅については難しいと考えている。</p> <p>【企画振興課長】空き家バンクは、それぞれ申し入れにより登録をしているが、契約は借主と民間会社が直接行っているため、ホームページ上での情報発信であれば対応できる。</p>
総務部	<p>大雪のときにラジオふらのが唯一の情報源になるが、電波の整備はどのようになっているのか。</p>	<p>【総務部長】ラジオふらのについては、現在認可が下りない状況が明らかとなり、仕切り直しとなっている。国や北海道にも規制緩和を要望はしており、引き続き次期計画で考えていきたい。</p>
総務部	<p>支所の職員を今後も3名体制にしてほしい。</p>	<p>【市長】地方交付税が増えていない状況で、無駄を省いていくことが必要となっている。職員数も325人から278人まで減り</p>

教育委員会	東山のパークゴルフ場は 18 ホールなので、大きな大会ができない。山部は 36 ホールに整備されている。36 ホールになれば他の地域の人と交流できると思うが。	<p>ましたが、課を統合するなどして機能の充実を図っている。何かあればすぐに対応したいと考えているが、職員の多い少ないは関係ないと考えている。例えば、2 名になったとしてもそれぞれの部署の担当者が東山まで出向くことが良いと思う。</p> <p>【市長】東山のパークゴルフ場の利用者は減ってきている。現在富良野市には、金満、山部、麓郷、プリンスホテルにもパークゴルフ場があるので、将来的な使用状況や採算を考える必要がある。地域活性化に向けた具体的な方策をいろいろな角度から地域として考えてほしいと思う。</p>
-------	---	--